

【005】 次のうち、国際機関の略語とその説明が正しく対応しているのはどれか。

- 1 IFAD —— 発展途上国の食糧保障援助活動を行う。
- 2 FAO —— 漁業や水産業の向上を目的とする活動を行う。
- 3 ILO —— 国際通貨の調整や為替操作を行う。
- 4 IMF —— 労働条件の改善など社会環境の整備活動を行う。
- 5 WHO —— 健康な生活を送るためのサービスや助言を行う。

【006】 国際連合(国連)に関する記述として最も妥当なのはどれか。

- 1 国連は、1945年に、わが国をはじめアメリカ合衆国、英国、中華人民共和国、ソビエト連邦など51か国を原加盟国として成立した。その後、加盟国の数は増え続け、2008年末現在では、世界の独立国の約半数が加盟している。
- 2 国連では総会における表決方法として多数決制を採用している。総会では、加盟国の地理的・歴史的事情に配慮する観点から、各国に面積や人口に比例して投票権を割り当て、安全保障理事会の常任理事国には、特に拒否権を認めている。
- 3 国連は、第二次世界大戦の惨禍を繰り返さないため、国連憲章において、自衛の場合を含め、加盟国による武力行使を全面的に禁止しており、これに違反した国に対する制裁も外交的・経済的制裁のような非軍事的行動に限定している。
- 4 国連は、数多くの紛争地域において、平和維持活動(PKO)を行って成果を挙げてきた。平和維持活動には、停戦が守られているかどうかを監視する停戦監視団の活動などがあるが、その実施に当たっては、原則として紛争当事国の同意が必要とされている。
- 5 国連を取り巻く政治的環境の変化に対応して、近年、国連の改革が進められている。2008年には、第二次世界大戦中に連合国の敵であった国々に関する条項が廃止されたほか、安全保障理事会の常任理事国が5か国から10か国に拡大された。

【007】 国際連盟と国際連合の相違に関する記述として妥当なのはどれか。

- 1 国際連盟は、設立当初からアメリカが加盟せず、日本が中途脱退するなど、真に世界的組織になることはできなかったが、国際連合には、現在朝鮮半島において分裂状態にある大韓民国(韓国)と朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)を除いて、世界のほとんどすべての国が加盟している。
- 2 国際連盟には、国家間紛争を国際法に基づく司法的解決により調停するための機関が存在せず、国際法に基づき平和的に解決できる紛争が武力衝突に至るケースが存在した。その反省に基づき、国際連合は国際司法裁判所を設置した。
- 3 国際連盟の決議は法的拘束力を持たず、侵略国に対しても経済制裁を加えるにとどまった。国際連合憲章は、安全保障理事会と加盟国が特別協定を結び、国際連合軍を創設することができると定めている。
- 4 国際連盟では、総会や理事会で全会一致制を採用したため、しばしば決定を下すことができなかった。国際連合では、アメリカ、イギリス、フランス、中国、ソ連(現在はロシア)の5か国に安全保障理事会常任理事国の地位を与え、これら5常任理事国は安全保障理事会のみならず、総会でも拒否権を保有している。
- 5 国際連盟は、総会と理事会のみから構成されるシンプルな機関であったが、国際連合は世界人権宣言に基づき、経済社会理事会や総会にさまざまな附属機関を設置している。特に、経済社会理事会に設置された国際労働機関(ILO)は、労働者保護の理念を世界に広げるため、重要な役割を果たしている。

【005】 5

- 1 FAO の説明文
- 2 説明文に該当する国際機関はない
- 3 IMF の説明文
- 4 ILO の説明文

※IFAD —— 食糧不足に悩む途上国への資金貸付などをおこなっている

【006】 4

- 1 日本が加盟したのは 1956 年なので、原加盟国ではない。また、世界の独立国のほとんどが加盟している。
- 2 各国 1 票。また、拒否権は安保理においてのみ。
- 3 軍事制裁が認められている。
- 5 旧敵国条項の削除は未だなされていない。常任理事国は 5 か国。

【007】 3

- 1 韓国も北朝鮮も加盟している。
- 2 国際連盟にも常設国際司法裁判所が存在していた。
- 4 拒否権は安保理においてのみ
- 5 世界人権宣言に基づいて設置されたわけではない。